



関西福祉大学 金光藤蔭高校新聞

実意をこめて
すべてをたいせいに
金光鑑太郎書

発行所
関西福祉大学
金光藤蔭高等学校
〒544-0003
大阪市生野区小路東4-1-26
TEL.06-6751-2461
FAX.06-6751-2470
<http://www.konkoutouin.ed.jp/>



卒業生の皆さん、おめでとうございます。今日の吉日を迎えられた皆さんに、心からお祝いを申し上げます。

いささか時期外れを承知で、クリスマスに季節を戻してみます。クリスマスと言えばサンタクロースですが、そのサンタの裏事情を知るか・知らぬか



「新しい世界を広げて・・・」 関西福祉大学金光藤蔭高等学校 校長 安元 祥二

日一日と暖かさが増し、春の訪れを感じさせる季節を迎えました。本日、卒業証書授与式を挙行し、203名の皆さんに本校の卒業証書を授与いたしました。これもひとえに、「天地の徳と人々の祈りのお蔭」であり、卒業される生徒の皆さん、保護者の皆様の努力の賜物です。「ご卒業、誠におめでとうございます。」

保護者の皆様、お子様は3年前に本校に入學し、3年間、学校生活の様々な場面で学びを培い、青春のエネルギーを燃焼させ、心身ともに大きく成長されました。一方、この時期は、人生において成長の時代であることも

の境目が、ちょうど小学校3年くらい年齢だという話があります。裏事情というのは、要するにサンタが本当に居るか・居ないか、という問題です。クリスマスが近づく頃になると、なぜか小学校でもめ事が起きやすくなる。ある子が「本当はサンタなんか居ないんや」と裏事情を暴露したりすると、「そんなことはあるはずがない」と

強く反論する子が登場して、必ずもめることになるそうです。更にある子が「うちの家はサンタが来ないで、お父さんがプレゼントをもってくるんや」と言ったたりすると、それを聞いた子が家に帰って「お母さん、ダレソレちゃんの家は、お父さんがプレゼント持って来るって言ってたんや」と、何やら必死の形相で親に訴え、真実を確



「後押ししてくれるもの」 卒業式告辞 関西金光学園 理事長 湯川 彌壽善

かめようとする。親は親で「へーえつ、そんなお家もあるんやね。私の家はちゃんとしてサンタが来るけど」と子供に話を合わせて切り抜ける。どうもこんなふうなやり取りが、毎年各地の教室で展開されることになるらしく、他愛もないことのようにですが、しかし当事者にとっては大問題なのです。このサンタの問題は、卒業生の皆さんも小さい頃に経験された出来事です。「そんなこともあったなあ」と懐かしく思い出されるかも知れません。サンタの裏事情については、多少の時期の差はあれ、誰もがいつか事実を知ることになります。これは即ち、大人

大人になるとは、現実を知り、世の中を知り、広い意味で世界を知っていくことです。色々な現実を知って、皆だんだん大人になっていくのです。考えてみれば、サンタが居ることが普通であったそれまでの世界が、サンタが居ないことが普通である世界へと変わるのですから、これはかなり劇的な変

国との、あるいは民族と民族との抗争、国レベルを超えての経済問題、エネルギーの問題、地球規模の環境問題、自然災害等々、解決困難な課題が山積しています。我が国を見れば、政治・経済を始め社会の様々な分野において、新たな構築に向けた生みの苦しい渦中にあります。そのような時代に、本校で学び、巣立つ皆さんには、将来それぞれに進む分野において自己の真価を充分に発揮し、時代の要請に応えていただきたいと強く期待しています。そのために、皆さんに2つのことをお願いいたします。

まず、「志、目標をしっかりと持っていただきたい。」
自分が社会の中で如何にお役に立つかという目標、そのような前向きな目標を是非持つて下さい。「志、目標」を追求する努力の過程が、これからの

化に違いありません。たかがサンタの話ではありますが、人は現実を知って大人になること、そしてその現実とは、時に劇的な変化やショックを伴うものであることが、今の話から想像できます。

さて明日から皆さんは、それぞれに新しい一歩を踏み出され、いよいよ大人への階段を上っていかれます。そこにはどんな現実が待っているのか。それは誰にも分かりませんが、言葉にできることでもありませんが、肝心なのは直面する現実に耐えうる「心」を持つていくかどうか、ということでしょう。

本学園ではいつも「心の教育」を大切にしてきました。それは、目に見えるものではありませんが、皆さんが本学で学んだ「心」は、例えば折々に厳しい現実を生きていかねばならないような時にも、皆さんをそっと後押ししてくれると信じています。明日へ向けた願いと期待を込め、これを送る言葉と致します。

皆さんの学びであり、皆さんの努力に期待したいと思えます。そして、「感謝、感動する心」を大切にしたい。人は、自分一人では生きていけません。私達はいろいろな人の支えや活動によって生かされる、また私達一人一人が「隅を照らす」ことによって社会を支えています。そのような周りの方々との関係を大切に、社会に対して「感謝」の気持ちを大切にしてください。